

## 5月～6月のりた

時 開催時間 対 参加対象  
所 開催場所 申 参加方法  
¥ 参加費 持 持ち物  
定 定員(選択方法)

### 5/12 むらさき麦まつり

松尾芭蕉の愛したむらさき麦。その麦穂が紫色に染まる時期に毎年開催される、藤川宿のイベント。歴史や文化を感じられる「藤川宿スタンプラリー」や名産品「むらさき麦」を使用したお菓子グランプリを開催。

時 10:00～15:00  
所 藤川宿一帯 ¥ 無料  
申 イベント会場へ直接お越しください。  
※駐車場が少ないため、公共交通機関の利用や乗り合わせでご来場ください。

### 5/13 矢作の魅力発見！まち歩きツアー

矢作旧国道で開催する伝統のお祭り「花のとう」の開催に合わせて、矢作町の魅力を見つけるまち歩きを開催します。

時 13:00～16:00  
所 やはざかん(集合)  
¥ 無料 ※お土産付 定 15名(先着順)  
申 事前にやはざかんへお申し込みください。  
4月15日～(定員に達し次第、申込締切)

### 5/18 第11回岡崎NPOコラボひろば(愛称:おかぶら)

今年度「ぜひゲストとして呼びたい！」という団体についてのプレゼン大会を実施します。あなたが話を聞きたい団体をおかぶらに呼びませんか？

時 13:10～15:00  
所 図書館交流プラザリぶら 103会議室  
¥ 無料  
申 事前に市民活動センターへお申し込みください。

### 6/3 お田植え みんなでアート

悠紀の里の壁面ガラスに、ガラス絵とローズウィンドウとのコラボで一つの大きな作品を市民の皆さんと作り上げます。悠紀の里に華やかな世界が広がります。

時 10:00～12:30 所 悠紀の里 交流スペース  
¥ 無料 定 25名(先着順)  
対 幼児～大人(小学2年以下は要保護者同伴)  
申 事前に悠紀の里へお申し込みください。

### 6/10 防災講習会

防災意識向上を目指して講習会を開催します。「家具の転倒防止」、「災害時のトイレ事情」、「身近なものでそろえる防災グッズ」など“タメになること”を学んでみませんか。

時 9:45(受付開始)～12:00  
所 よりなん館内  
¥ 無料 定 60名(先着順)  
申 事前によりなんへお申し込みください。

### 6/24 東部の活躍人！交流会

額田木の駅プロジェクトの活動現場を視察します。また、岡崎市東部地域で活躍する市民活動団体・地域団体が集まり、情報交換と親睦交流を行います。

時 9:30～13:00頃  
所 千万町楽校および周辺  
¥ 500円(昼食代) 定 25名(先着順)  
申 事前にむらさきかんへお申し込みください。

### 6/30 家族を守るためのボウサイ(水害編)

矢作地域は岡崎市内でも浸水の危険があるエリアです。異常気象などにより突然引き起こされる水害の備えについて考える講座を開催いたします。

時 10:00～11:30  
所 やはざかん ホール  
¥ 無料 定 100名  
申 直接やはざかんへお越しください。

## NEWS

### 5/12± “岡崎百景推薦人”と行く！知られざる岡崎「10/100景」ツアー



「岡さんぽ」(主催:岡崎商工会議所・NPO法人21世紀を創る会・みかわ岡崎活性化本部)とのコラボレーションにより開催が実現した当ツアー。中心市街地に集積する岡崎百景(りたらしい72号参照)のうち10景が味わえる欲張りコース。この日は二七市や岡崎三大祭の一つ「能見神明宮大祭」の前日祭の山車揃えも見られます。

【集合場所】リぶら西口玄関前 【集合時間】8:50 【料金】500円  
【最少催行人数】6名 ※幼児不可  
【コース】リぶら～シビコ～康生交差点～二七市～籠田公園～甲山～六供配水塔～茶臼山～続く道～松應寺～神明宮大祭山車揃え～あまざけ屋(12時頃解散)  
【申 込】 <http://www.okazakicci.or.jp/okasanpo/>

まちのミカタ

# Litaracy

ーりたらしいー

92

2018年5月



## 特集

## 岡崎市全域の魅力を発信し続ける“〇にナる”岡崎まちものがたり

平成29年1月に発行(及びインターネット配信)された『岡崎まちものがたり』。岡崎市市制100周年記念の主要事業のひとつであり、47小学校区ごとの「地域の自慢」を、岡崎市全体で一冊の本にまとめたものです。これは、総代会を中心に組成された「学区まちものがたり作成委員会」により、学区の紹介を全8ページ(表紙、年表、地図、特集、後記)にまとめられました。この事業に対し、NPO法人岡崎まち育てセンター・り

たは、作成委員会への作成支援業務を担いました。プロのライターやエディターを中心とした6人のチームで対応し、約2年がかりで企画・編集・校正作業の支援を行いました。そして事業が学区という単位で行われたことで、岡崎市全域の地域資源の情報が自然と収集されることになりました。その情報を岡崎市のシティプロモーションに生かそうと29年7月に誕生したのが、WEB媒体の『“〇にナる”岡崎まちものがたり』です。

まちのミカタ

Litaracy

2018.05 vol.92

発行・編集



特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・Lita

〒444-0072 愛知県岡崎市六供町字杉本78-1  
TEL(0564)23-2888 / FAX(0564)23-2898  
<http://www.okazaki-lita.com/>  
<https://www.facebook.com/okazaki.lita/>

配布

岡崎市図書館交流プラザ・Libra / 岡崎市内の地域交流センター  
会員宛へ郵送 等 ※会員登録をご希望の方は左記までご連絡ください。

配布協力

岡崎市役所各支所 / 岡崎市各市民センター / シビックセンター / FMおかざき / 杉くんの駄菓子屋 / angelshare / コミュニティ・ユース・バンクmomo / cafeくらがり / CAFE & TABIBOOKS隠れ家 / 長善館 / 松應寺

# 岡崎市全域の魅力を発信し続ける “〇にナる” 岡崎まちものがたり

## ●地元の思いを受け止めて、岡崎市の魅力を発信

『“〇にナる”岡崎まちものがたり』は、岡崎市広報課が運営するサイト『岡崎ルネサンス』内で公開されています。タイトルの“〇にナる”は、〇にそれぞれ自由に言葉を当てはめられるようにして、地域の多様な情報や、読者に有益な情報を届けたいとの思いが込められています。

本事業の基礎となる『岡崎まちものがたり』の功績として、地元目線での地域の自慢や誇りが浮き彫りになったこと、そしてそれが岡崎市全域で行われたことが挙げられます。それに加え、りたの作成支援の担当者は、各学区の作成委員会の会議に同席し、貴重な情報とともに地元の思いを受け止めてきました。本事業では、集積された情報をりたの担当者が選定して企画・取材を行うことで、地元へ愛されている地域資源の客観的な価値についても発信することが可能となりました。

記事内容は、一般的な観光情報ではなく“市全域で知られていない地域資源の全容”または“市全域で知られている観光資源のトリア”を意識して構成しています。そこに＋αで地域の今を伝える地元の声などを盛り込み、市民へは郷土愛の醸成、市外の方へは来岡と移住・定住を促す、シティプロモーション活動の一端を担っています。



①切越の夫婦ヒノキ②ソウのふじ子など、市内各地へ赴く、取材風景  
③約400ページ(A4サイズ)にまとめられた『岡崎まちものがたり』



①「山から石を切り出す山石屋という仕事」②「大正14年創業の超レトロ銭湯「龍城温泉」の魅力」③「巫女の舞、神輿、そしてパッカン！中園町の熊野神社祭礼」④「六ツ美の賑わいの中心だった中島の街を訪ねて」の記事の一コマ。出会った方たちの生の声を反映しながら、アーカイブとしての機能も意識しています

## ●人と地域と、そのつながりを大切に

地元を意識した情報発信を行う本業務では、『岡崎まちものがたり』作成時に築いた、地元の方たちとの信頼関係を欠かすことができません。記事の企画について相談をするなど、地縁団体、学校、市民団体のみなさんには、引き続き、協力をいただいています。また私たちも地域資源についての情報を共有する仲間として地元へ赴き、取材活動を行っています。

今回の企画では取材が必須であり、新たに人と出会うことで、さらなる情報収集も行っています。そのほか、個人所蔵の古い書籍などの地域資料をデータ化して保存したり、地域に貢献した方の子孫を探し出してお話を伺ったり、放っておけば風化してしまう地域資源の掘り起こしやアーカイブ化も進めています。

これらは、りたの主要ミッションでもある「地域資源」による郷土愛の醸成と、それを促す情報収集・発信の実現でもあります。岡崎市の“まち育て”にも、本業務の成果を生かしていく予定です。



①「開場60年を迎えた恵田小学校の落ち葉スキー」②「鳥川ホテルの里湧水群」③「人々を魅了し続ける山中城址」④「万足平の猪垣」の記事の一コマ。『岡崎まちものがたり』の作成に引き続き、各学区の総代、小学校、市民活動団体など、地域との協力関係を大切にしながら、まちの魅力を発信しています

※サイトはコチラ>> [〇にナる岡崎まちものがたり](http://www.okazaki-renaisance.org/story) 検索  
または、<http://www.okazaki-renaisance.org/story> >

# 3月～4月のりた

## まち育て推進チーム 社会実験 アウトドアリビングな風景をつくろう

### 2/24 「クイズラリー」編



学生まで、約45人の子どもたちとその家族が参加し、和気あいあいと楽しむ姿が見られました。

りぶらの運営をサポートする市民団体・りぶらサポータークラブとコラボして、子どもたちを対象にした「りぶらクイズラリー」を企画。クイズはプロムナードに何か所か掲示され、普段は気づかないりぶらの魅力が発見できる内容でした。幼稚園児から小

### 3/3 「みんなで楽しもう、絵本！」編

図書交流プラザりぶら北側の芝生広場にて「おはなしの森」(ボランティアグループ)による絵本の読み聞かせを開催しました。快晴の青空の下、約30名の親子が集まり、絵本や紙芝居だけでなく、声を出したり体を動かしながら絵本の世界を楽しむ光景が見られました。



## よりなん 3/4



## まち育てスクール 岡崎学区の歴史めぐり

三河一向一揆の拠点となった勝鬨寺、日本の自動車製造の先駆者である、橋本増治郎の生家などを訪れました(参加者21名)。最後に振り返りのクイズ大会を行い、全問正解者が続出し楽しく歴史を学びました。

## やはぎかん 3/4



## やはぎかん10周年

市民活動団体や地縁団体と実行委員会を組織し、企画したイベント。来場者は昨年を上回る1400名。子どもから90代の方まで幅広い世代の方に参加いただき、ステージ発表、体験、販売などを通じて団体と来場者との交流が見られました。

## 市民活動センター 3/9 第9回岡崎NPOコラボひろば(愛称:おかぶら)

「来年度のおかぶらを展望しよう」をテーマに、市内で活動するNPOが集まり、来年度の実施内容について語り合いました。深めたいテーマや、活動紹介を聞きたい団体のアイデアを意見交換しました。

## まち育て推進チーム 3/21 フォーラム 「動き出す、Quruwa」



2015年からはじまった公民連携まちづくり「おとがわプロジェクト」。今回は3年間の振り返りを行ったほか、専門家が他都市の先進事例を紹介しながら、今後の展望についてディスカッションをしました。定員を超える約130名の方が来場し、プロジェクトに対する市民の関心の高さが伺えました。

## なごみん 4/15 なごみん フェスタ2018



ダンスやマジックなどのステージ発表や作品展示、体験コーナーのほか、手づくり雑貨や食品の販売を行いました。イベントを通じて、約900名の市民と市民活動団体が交流しました。

## むらさきかん 2/25 東部の活躍人！ 交流会



↑和やかに意見交換をしている様子



↓木の香り漂う集会室

年に2回開催している、「東部の活躍人！交流会」。今回は、2月13日(火)にオープンした額田センター・こもれびかんで開催しました。参加者は、主に岡崎市東部地域で地域活動や市民活動を実践されている約20団体49名の方々。グループごとに分かれ、お互いの活動の情報交換や意見交換を行いました。今回のユニークな試みとして、「観光コース(体験コース)を考えてみよう」と、地図をもとにさまざまなコースのアイデアを話し合い、地元の魅力を体感できる案をまとめました。参加者からは、「見慣れた東部地域の風景と魅力を、あらためて素敵な場所に感じることができました」と感想もいただきました。次回は、6月末に開催予定です。今回の会場となったこもれびかんは、額田支所を含む行政棟に、集会室や研修室がある市民交流棟が併設され、今後、額田地域の市民活動の拠点となることが期待されています。



↑地元の木材をふんだんに使用して建設された、額田センター・こもれびかん